



2021年8月26日 第2446回例会
Web (Zoom) 8月第3例会



RIテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

本年度会長テーマ「新しい風と微笑みを」



「会員増強・新クラブ結成推進月間」「平和月間」

◆ 会長時間 ◆

梶本会長



一世紀以上前、私たちは人と人とのつながりを礎とする奉仕のリーダーシップという新しいモデルの先駆けとなりました。今日このつながりは、世界に広がるネットワークと

なって文化間、言語間、世代間、地域間に橋を渡し、より良い世界のビジョンを分かち合っています。私たちは行動人として、このビジョンの実現には計画が必要であることを知っています。

2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

●「より大きなインパクトをもたらす」

「世界を変える行動人」は、問題を効果的に解決します。

地域社会や世界で変化を生み出すために、自分たちの知識や経験を生かす新たな方法を探りましょう。私たちは、ポリオ根絶の取り組みでリーダーシップを発揮し、確かなインパクトをもたらしてきました。これからも世界におけるロータリーのインパクトを実証していきましょう。

新型コロナウイルス感染症に対するロータリーの行動変革が求められています。

- ・例会でのDX（デジタルトランスフォーメーション）の活用
- ・地域への感染防止などの貢献

●「参加者の基盤を広げる」

「世界を変える行動人」は、互いに刺激し合い、意欲を高め合います。

目標を共有する人たちが一緒に活動できるよう、つながりと機会を創り出していきます。

●「参加者の積極的なかわりを促す」

「世界を変える行動人」は、人びとのニーズを理解することに努めます。

参加者のニーズ、期待、成長を活動の中心に据えることの大切さを再確認しましょう。

ロータリーの奉仕、理念などを幅広く理解してもらい、地域の人々とともに社会に貢献する。

●「適応力を高める」

「世界を変える行動人」は、独創性があり、起業家精神にあふれ、困難があっても立ち直ります。

社会の変化をいち早く察知し、対応行動していく必要がある。

● 会務報告

※ 8月30日(月)～9月10日(金)の期間、事務局は在宅勤務体制で業務をいたします。期間中は主にメールにて対応をさせていただきますので、ご了承ください。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

8月26日現在 会員数87名

4週前の例会（2021年7月15日・木曜日）

出席率100%

✳ 国際社会奉仕委員会

2020-21年度国際社会奉仕委員会

吉井委員長

スポーツ用品を贈ったカンボジアひろしまハウスから、無事荷物が着いた旨、連絡がありました。

スポーツ用品贈呈の御礼

本日皆様から頂戴しました荷物がひろしまハウスに到着しました。ありがとうございました。大きい子チームが荷物を運ぶのを手伝ってくれました。カンボジアのコロナの状況は思わしくありませんので、まだ子供達へのお披露目はできていませんが、きっと飛び跳ねて喜ぶと思います。

ひろしまハウスゼネラルマネージャー

友廣 壮希



● 同好会報告

☐ 囲碁同好会

小田世話人

21年～22年副会長杯取り切り戦

8月21日、紙屋町の囲碁クラブ千代田を会場として、副会長杯取り切り戦を開催しました。今回はコロナの関係もあり、現役メンバーだけの集まりにしたため3名の出席でした。世話人の小田が全勝、尾形君が一勝一敗、田中君が全敗という結果で、小田が取り切り戦で優勝し

ました。3名ともコロナワクチン2回接種を受けての参加で、感染のおそれは少ないのではないかと考えて大会を開催しましたが、デルタ株の感染力は強いといわれておりますので、多少心配しているところです。

● 会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

(8名)

新本君	真希子夫人
中岡君	桂子夫人
吉田(浩)君	智恵子夫人
片山君	友香夫人
松岡(幹)君	淳子夫人
古本君	ひろみ夫人
岡野君	泰子夫人
児玉君	留美子夫人

👑 7月決算月おめでとうございます。

(3名)

川村君	アールジェイ株式会社
古本君	株式会社建築設計
松田君	弁護士法人広島メーブル法律事務所



● スマイルボックス

SAA 北村委員長

👤 正副会長幹事の皆さま

Web例会開催記念！

本日8月26日、広島西ロータリークラブで、DXへの一環となるZoomを利用したWeb例会を開催することができました。さまざまな課題が懸念されるものの、クラブメンバーで外部環境の打開に苦心する姿は、「古きを覧、新しきを考える」「覧古考新」の精神に則った「新しい風」を起こしたのではないのでしょうか。

SAA委員会は、正副会長幹事をスマイルボックスへご招待することで「微笑み」を添えたいと考えております。皆さま、笑ってご出宝いただけますようお願いいたします。

■ 会員組織部門 強調プログラム



職業分類・会員増強委員会

委員長 **金本 善行 君**

本日は、会員増強について皆でしっかり考えてみようという例会です。会員増強には「会員数を増やすこと」と「会員の質を強化する」という2つの意味があります。ロータリーに相応しい新しい会員を意欲的に熱意を込めて勧誘し獲得するという「増」の部分と、会員一人ひとりがロータリアンとして成長していくという質的強化の「強」の部分です。その内の「増」の部分についてお話してみたいと思います。

全ての組織は自然に任せておきますと、高齢・病気・死亡・転勤などで必ず人員は減少します。この自然減について、私が当クラブに入会した25年前と現在とを比べてみました。私が入会した25年前の年度末（1996年6月末）の会員数は96名でした。この内現在も在籍しておられる方は23名です。何と96名の内73名の方が退会されています。この25年間で毎年3名づつ約4分の3の方が退会されたことになります。実際に数値で拾ってみますと自然減とはいえ予想外の多さにびっくりしました。当クラブ会員の平均年齢は63歳と高齢化しています。会員増強の大切さを改めて実感しているところです。

会員数を増やすことは、クラブの体力を強化し、財政基盤を確立し、充実した奉仕活動を可能にします。本年度は基本人数87名での予算組となっていますが、この一般会計予算と会員数が74名と大変苦しかった年度の予算とを比較してみました。まず収入合計ですが、本年度が3,900万円であるのに対して、74名の時は3,100万円であり800万円も予算規模が違います。支出項目の大口の委員会費を見ても、親睦活動委員会費が本年度400万円に対して250万円と150万円の差があり、会報雑誌・広報委員会費が本年度350万円に対して260万円と90万円の差となっています。予算不足という状況は、やりたい事業も制限され、

経費の節減という後ろ向きの対応を余儀なくされます。充実したロータリー活動を行う上で、財政基盤の確立は重要な要素と言えます。

次に未充填の職業分類について見てみたいと思います。2021年7月1日現在の当クラブの職業分類は、全部で146に分類されています。この内充填分類は69、未充填が77で約半分が未充填という状況です。皆さんも今一度職業分類表を眺めてみていただき、身近なご友人、お取引先を思い浮かべてみてください。

続いて増強目標についておさらいです。RIのシェカール・メータ会長は、会員はロータリーの一歩大切な財産でありながら、過去20年間会員数は横ばいとなっている。「みんなが一人を入会させよう」の取り組みを通して、世界で120万人の会員数を130万人に増やそうと呼びかけています。我が第2710地区の目標は、51名以上のクラブは純増2名以上です。また、当クラブの戦略計画2020－2024では、2024年度終了時点で会員数を100名とし、その内10%の10名を女性会員とすることを目標としています。本年度 梶本会長も「喫緊の課題は当クラブに相応しい新会員の増強である」と強調されています。

ロータリークラブは市内だけで12クラブ存在します。この激戦区の中で広島西ロータリークラブを選んでもらえるためには、勧誘する私たちが当クラブの魅力を肌で感じて、それを候補者に対してしっかりと語り伝えることが必要です。昨年度の会員組織強調プログラムでのアンケート調査の中で、当クラブの魅力に関連して次のような結果が報告されています。

- (1) 「ロータリー活動は楽しいですか？」の問いに、8割の人が「はい」と答えておられます。
- (2) さらに「魅力を感じる他クラブはありますか？」の問いに、7割の人が「ない」と答えておられます。

多くの方は広島西ロータリークラブの良さを感じて活動されているんだなと思いました。

続いてこの後の後半が本日の強調プログラムのメインメニューです。諏訪PG、大植君、藤田君に広島西ロータリークラブの魅力について語っていただきます。短い時間で大変恐縮ですがよろしくお願いいたします。



広島西 RC の 創立から現在

第 25 代会長
諏訪 昭登 君

広島西RCは1970年3月7日に創立総会を開催し、広島市内6番目のクラブとして発足しました。創立会員は26名で赤木渉会長を初代として、11月1日には日本人最初のRI会長の東ヶ崎潔氏（1968～69）を迎え、認証状伝達式を盛大に開催しました。のちに東ヶ崎氏が「出席した認証状伝達式で最も立派で世界一だ」との称賛をいただいたのも誇りの一つです。会長テーマは“楽しいクラブ 明るいクラブへ”、スローガンを“友愛と楽しいクラブ”とされ、クラブカラーは濃紺とすること、人の呼名は誰々さんとするなどが決定されました。特に強調されたのは党中党派を作らないこと、年齢、仕事など色んな形でグループ化することを厳に慎むよう念を押され、クラブの特色の一つとして誇ってきた歴史があります。

私は創立3年目の初期、1972年7月1日、50人目の会員として入会し、現在50年目の年度を歩んでいます。振り返ってみるとさまざまなクラブ発展の歴史が走馬燈の如くに脳裏を通り過ぎます。順調にとは言いながら難問題にクラブが動揺したことが皆無ではなく、いずれも会員の協力、努力でここまで到達したことは感慨無量の心境があります。ロータリーは平等対等の原則があり、だからこそ会員が胸襟を開いて都会の中のアオアシスのように語り合えるのが大前提です。

本日は会員増強のテーマですが、いかなる組織もその歩みに停滞が始まると衰退と滅亡への道へと続き、ロータリーでも常に適格な会員を仲間として迎える努力を怠ってはなりません。新会員は社会的、人格的に完成した方を求めるわけではなく、先達が語っているように、ダイヤモンドの原石を求めることです。共通の目的を持った仲間同士が、人格形成の場として研鑽し合いそれを広めるのがロータリーの原点的発想です。

では、適格な人物を勧誘するロータリアンはどうあるべきでしょうか？ロータリーをよく理解して自信ある勧誘説明ができることが必要でしょうし、

そういうロータリアンを育てる場がロータリークラブであります。私が期待するのは、現在ロータリーでその欠如が問題化しているクラブにおける継続的研修プログラムの計画実施です。ロータリーの基本知識の欠如が目に見えるようなクラブは前途が思いやられます。会員基盤の強化はそこに原点があり、そのためにはクラブ運営の充実が不可欠です。全会員が平等対等の大原則を守り民主的で和やかなクラブ運営が望まれ、理事会はその重責を担っていることを認識して真剣な採択をしていたかねばなりません。会員は創立以来の誇りである党中党派を作らず屋上屋を重ねることなく、友愛を楽しめるよう努めましょう。会員増強はロータリー精神を拡めていく一つ一つの核を増やすことが正しい目的であり、ロータリー永遠のテーマであることを強調して終わります。



大 植 伸 君

私は入会して10年になりますので、中堅の会員として、当クラブの魅力をお話しします。当クラブにある沢山の魅力の中で、入会を勧誘する際に語るのに適した魅力に絞ってお話したいと思います。

結論から言うと「当クラブに入会すれば、人間としての幅が広がり、深みが増す」ということです。

まず、会員同士、基本的に対当な関係に立てます。ベテランも若手も、老いも若いも、会員となれば皆対等な関係です。当クラブでは、皆そう扱ってくれます。その傾向は恐らく他のクラブよりも顕著です。上場会社やCMでお馴染みの有名会社の社長さんとも、メダリストのお父さんとも、皆、横並びの仲間になれます。上下関係より、対当な関係の方が、大幅に双方向に有益な意見や情報を交換できるので、自分を高めるためにとても有益です。そして、多くの様々な分野の仲間ができるので、あらゆる分野にコネクションを持ち、情報を集められます。それだけで、仕事の幅が広がる

し、心に大きな余裕が持てます。

私の場合、仕事でヤクザやチンピラと対峙することがありますが、気持ちが怯みそうになったとき、最後は「自分には広島西ロータリーの仲間がいるから大丈夫だ」と心に念じて、気持ちを立て直しています。

また、当クラブには、奉仕の精神に溢れ、企業人や人間として非常に魅力的な会員が沢山います。例会出席率が非常に高いので、そんな会員に毎週会えます。そして皆とてもフレンドリーですから、その中から本当に心置きなく付き合える一生の親友がきっと出来ます。これは人生の宝物です。

以上のとおり、当クラブに入会すれば多分野で活躍する全ての会員と対当な関係で意見・情報の交換ができて、人間としての成長に役立ちますし、安心や自信にもつながります。そして大切な人生の宝物が見つかります。このようにして「人間としての幅が広がり、深みが増す」のです。これが当クラブの一番の魅力であり、自信を持って入会を勧められる理由だと思います。



藤田 千加子 君

広島西RCに関してはまだまだ勉強不足ですが、浅い浅い経験の中でも印象的だったことを、私にとっての広島西RCの魅力として「みつ」お伝えしたいと思います。

○ 広島西RCの魅力 ひとつめ

「出会い」

RCの例会は互いに切磋琢磨して、自分を磨くところだと聞いています。

多くの先輩方の経験に学び、若い方のパワーと行動力に刺激を受けて、心がけ次第でいくらでも自分の糧となる出会いがたくさんあることがひとつめの魅力です。

○ 広島西RCの魅力 ふたつめ

「RCのことならなんでもご存じな方がおられて勉強になる環境」

RCというと、「奉仕」ですが、入会当時の私

は「奉仕」なんて、志の高い方がされることだと思っていました。さらに「ロータリーの奉仕は哲学である」などと書いてあると、難しそうで、敷居が高くて、縁が無いように感じていました。

ある時「service」の日本語解釈について、諏訪(昭登)さんから「内外に対して“役にたつ”ということが大切なのです」と教えていただきました。この言葉が、ひとつの転機になりました。「役にたつ」なら私にも、目指せそうです。この「役にたつ」のレベルを徐々に上げていけば、私もいつかちゃんとしたロータリアンになれるかもしれません。

RCを身近に感じた、大変印象的な出来事でした。

○ 広島西RCの魅力 みつつめ

「すばらしい人間関係と楽しさ」

どんな団体やコミュニティも継続するには「良い人間関係」や「楽しさ」が必要だと思います。親睦活動委員会の時、入口に立っているのが楽しかったのも、広島西RCの会員の方が他のRCと比べて例会に早くこられるから。また広島西RCには魅力的な方が多く、キズナが培われているからだろうと思っています。お仕事に関しても助けてくださる方もおられます。いつか私が役にたつ側になりたいと思っています。

8月26日(休)はWeb (Zoom) 例会でした。





1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

広島西RC

検索



例会日・木曜日 12:30～13:30

例会場・ANAクラウンプラザホテル広島

会 長 梶本 政明

幹 事 松岡 輝明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78

リーガロイヤルホテル広島13F

TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870

E-mail : hwrc@godorc.gr.jp

作 成・会報雑誌・広報委員会